



伊 野 甚 文  
(日本共産党)

### 水道料金決定に市民の声反映を

#### 審議会には市民委員も

**議員** 水道料金を決める際に、市民の声も反映させるべきでは。

**市長** 上下水道事業経営審議会の委員に市民代表も選ばれることから、市民の声も反映されていると考えています。

**議員** 水道料金について、基本料金で使用できる水量10m<sup>3</sup>は、高齢者世帯や単身世帯では使いきれない。基本料金を下げたり、基本水量を減らし、負担を減らす考えは。

**上下水道部長** 県内の多くの他事業体でも基本水量を10m<sup>3</sup>としています。これは、水道の普及を促進し、生活用水として一定量の清浄な水の使用を促すことよって、公衆衛生の向上を図るとともに、その部分に係る料金を低く抑えるためのものです。また、県内十市の

水道料金と比較しても、決して高いとは考えていません。しかし、高齢者世帯などが増加傾向にあることや、節水意識の向上などの変化を踏まえ、水道事業会計の経営状況等を勘案しながら料金体系について調査、研究していきたいと考えています。

**議員** 町内会への助成を拡充する考えは。

**市長** 地域住民が生活していく上で基本となるのが町内会だと考えています。平成二十五年度は町内会の負担軽減のために、街路灯電気料の補助を七十パーセントに引き上げることや、元気な十和田市づくり市民活動支援事業などの実施を考えています。

**議員** 町内会に市職員を割り当て、定期的な会

合などにより、住民と行政をつなぐ考えはないか。

**民生部長** 町内会が行っている地域活動や生活環境整備等における問題点や要望について、意見交換する場が必要と考えています。市職員の地区担当などによる情報交換で、町内会の支援に結びつける仕組みづくりを町内会連合会と連携し進めていきたいと考えています。



行政を支える地域の活動

### B-1 グランプリに期待することは

#### まちの活性化と市民によるまちおこし



江 渡 信 貴  
(高志会)

**議員** ことしの九月七日、八日に2013北海道・東北B-1グランプリ・十和田が開催されるが、このイベントの概要と、期待することは何か。

**市長** 県内外から多くの観光客が訪れることによるまちの活性化や十和田市の知名度向上、多くの市民の協力が必要になることにより、市民によるまちおこしの機運が高

まることを期待しています。

**観光商工部長** このイベントは、ご当地グルメを提供しながら各地域の魅力をPRすることで、地域の活性化を目指しています。中心市街地を会場にする予定で、二日間の来場者を十万人と想定しています。

**議員** イベント開催に当たり、おもてなしの仕組みづくりは。

**観光商工部長** ことし二月に市職員及び市内高校生を対象に講演会を実施しました。今後は関係団体と協議し、勉強会等でおもてなし技術の向上を目指します。



市民総出でおもてなしを

**議員** 新年度から設置される、まちづくり支援課の役割は。

**総務部長** まちづくり基本条例が目指す、活力に満ち安心して暮らせる十和田市の実現に向け、市民活動支援事業や町内会及び地域コミュニティ活動事業を一本化し、支援体制を強化することで市民活動の活発化を目指します。

**議員** 協働のまちづくりの主体である、町内会や地域コミュニティへの支援は。

**民生部長** 町内会の活性化を図るため、市職員の地区担当を設け、情報提供、意見や要望の聞き取り、対応部署への仲介などにより活動の支援ができないか検討していきたいと考えています。また、元気な十和田市づくり市民活動支援事業において、地域課題への取り組みを支援するコースなどを新設し、町内会等の活動支援に取り組んでいきます。